



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 株式会社 ヤマシナ

上場取引所 東

コード番号 5955 URL <http://www.kk-yamashina.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 森嶋 誠一

TEL 075-591-2131

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	3,927	0.3	207	89.6	230	86.7	195	99.8
25年3月期第3四半期	3,915	1.0	109	△5.8	123	5.3	97	△9.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 198百万円 (100.9%) 25年3月期第3四半期 99百万円 (0.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第3四半期	1.40	—
25年3月期第3四半期	0.70	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	11,749	9,045	77.0
25年3月期	11,749	8,985	76.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 9,045百万円 25年3月期 8,985百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	5,200	1.0	260	63.5	280	56.6	240	58.6	1.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	143,611,765 株	25年3月期	143,611,765 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	4,461,414 株	25年3月期	4,461,405 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	139,150,360 株	25年3月期3Q	139,150,366 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績予想等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による各種政策効果の発現等の影響により、企業の設備投資や雇用情勢の持ち直しや堅調な個人消費等により景気の回復は底堅い状態で推移しております。

このような状況のもと、当社グループでは、主要取引先である自動車業界のエコカー補助金による需要の反動減等の影響を受けたものの、堅調な米国経済やそれに伴う過度の円高是正、国内景気の回復や消費税改正による駆け込み需要等による自動車業界の増産体制により受注が増加するとともに、継続した生産効率の改善活動や徹底したコスト削減等により、利益は当初想定を大きく上回り堅調に推移いたしました。

当第3四半期の連結業績は、売上高は3,927百万円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益は207百万円（前年同四半期比89.6%増）、経常利益は230百万円（前年同四半期比86.7%増）、四半期純利益は195百万円（前年同四半期比99.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (金属製品事業)

主要取引先である自動車業界において上半期を中心にエコカー補助金による需要の先食いや海外生産へのシフトによる国内生産の減少の影響もあったものの、米国経済の回復や底堅い国内景気回復による消費マインドの改善並びに消費税改正前の駆け込み需要等による増産体制の継続により、当第3四半期会計期間では受注の引き合いが強く、売上高は相対的に高水準で推移いたしました。また、生産効率の改善活動の継続的な取り組みや固定費の圧縮等により、利益は当初想定を大きく上回り堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は2,474百万円（前年同四半期比0.2%減）、営業利益は237百万円（前年同四半期比33.7%増）となりました。

#### (電線・ケーブル事業)

電線・ケーブル事業においては、依然として主力製品であるハーネスや組立装置の受注が伸び悩む中で、コスト削減の徹底等により利益面では回復基調の推移となりました。

その結果、売上高は1,277百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業利益は39百万円（前年同四半期比45.0%増）となりました。

#### (不動産事業)

不動産事業におきましては、既存物件の稼働率につき一定の水準を確保しており、顧客の離反率が低下した事によりメンテナンスコスト等も削減できたため、相対的に順調に推移いたしました。

その結果、売上高は171百万円（前年同四半期比2.9%増）、営業利益は88百万円（前年同四半期比15.9%増）となりました。

#### (その他)

その他事業は主として投資事業から構成されておりますが、安全性の高い資産に投資対象を限定することにより運用リスクを低減させ、一定の投資枠の範囲内で資金を運用しております。

その結果、売上高は3百万円（前年同四半期比36.1%減）、営業損失は2百万円（前第3四半期連結累計期間は営業利益1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、5,068百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金136百万円が増加したものの現金及び預金140百万円、たな卸資産59百万円がそれぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.7%増加し、6,681百万円となりました。これは、機械装置が20百万円、投資有価証券123百万円がそれぞれ増加したこと及びリース資産が16百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5.4%増加し、1,065百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が51百万円、賞与引当金19百万円がそれぞれ増加したこと及び短期借入金28百万円が減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.5%減少し、1,638百万円となりました。これは、長期借入金96百万円、リース債務19百万円がそれぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて0.7%増加し、9,045百万円となりました。これは、利益剰余金が当期純利益により195百万円増加したものの、資本剰余金による配当金139百万円が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想は平成26年1月29日に上方修正公表しております。

詳細につきましては、平成26年1月29日公表の「業績予想の修正(上方)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,557,232	2,416,539
受取手形及び売掛金	1,577,774	1,714,318
商品及び製品	445,223	344,676
仕掛品	128,537	153,430
原材料及び貯蔵品	350,121	366,473
その他	119,654	73,807
貸倒引当金	△864	△971
流動資産合計	5,177,678	5,068,274
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,311,528	1,310,365
土地	4,430,861	4,430,861
その他(純額)	575,394	577,879
有形固定資産合計	6,317,784	6,319,106
無形固定資産		
その他	59,239	40,856
無形固定資産合計	59,239	40,856
投資その他の資産		
破産更生債権等	1,151,475	1,151,475
その他	244,512	361,344
貸倒引当金	△1,201,475	△1,191,579
投資その他の資産合計	194,512	321,240
固定資産合計	6,571,537	6,681,203
資産合計	11,749,215	11,749,477
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	385,083	436,396
短期借入金	382,896	354,596
未払法人税等	21,131	20,276
賞与引当金	9,975	29,695
環境対策引当金	2,479	1,239
その他	209,744	223,347
流動負債合計	1,011,311	1,065,551
固定負債		
長期借入金	274,051	177,654
退職給付引当金	339,184	339,414
環境対策引当金	29,176	28,556
その他	1,109,987	1,093,010
固定負債合計	1,752,399	1,638,635
負債合計	2,763,711	2,704,186

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,900,400	90,000
資本剰余金	2,882,058	6,553,308
利益剰余金	928,016	1,123,188
自己株式	△131,719	△131,719
株主資本合計	7,578,755	7,634,777
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121	3,886
土地再評価差額金	1,406,627	1,406,627
その他の包括利益累計額合計	1,406,748	1,410,513
純資産合計	8,985,504	9,045,291
負債純資産合計	11,749,215	11,749,477



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	3,915,893	3,927,392
売上原価	3,195,335	3,158,412
売上総利益	720,558	768,979
販売費及び一般管理費	611,162	561,554
営業利益	109,396	207,425
営業外収益		
受取利息	2,772	2,842
受取配当金	229	7,423
受取手数料	7,389	—
貸倒引当金戻入額	—	9,895
その他	19,600	17,526
営業外収益合計	29,992	37,688
営業外費用		
支払利息	12,627	9,687
その他	3,204	4,795
営業外費用合計	15,831	14,483
経常利益	123,557	230,630
特別利益		
受取和解金	2,000	—
保険解約返戻金	—	1,249
その他	59	—
特別利益合計	2,059	1,249
特別損失		
固定資産売却損	1,633	782
固定資産除却損	3,854	6,887
営業所閉鎖損失	2,100	—
災害による損失	—	3,400
特別損失合計	7,588	11,069
税金等調整前四半期純利益	118,028	220,810
法人税、住民税及び事業税	20,321	25,637
法人税等合計	20,321	25,637
少数株主損益調整前四半期純利益	97,706	195,172
四半期純利益	97,706	195,172

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	97,706	195,172
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,318	3,764
その他の包括利益合計	1,318	3,764
四半期包括利益	99,024	198,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,024	198,937
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年6月24日開催の定時株主総会において、今後の柔軟かつ機動的な株主還元策および資本政策等を実施できる体制の確保を目的とする無償減資について決議し、平成25年7月26日付で無償減資を実施いたしました。この結果、資本金が3,810,400千円減少し、資本剰余金が同額増加したため、当第3四半期連結会計期間末において資本金が90,000千円、資本剰余金が6,553,308千円となっております。